

BUDŌ

NEWS

今月のニュース



森重流砲術

日本古武道演武大会

2月7日・日本武道館大道場

第39回日本古武道演武大会



古武道 35 流派が一堂に会して奥義を披露

大東流合気柔術琢磨会

第39回日本古武道演武大会（主催 日本武道館・日本古武道協会）は2月7日、日本武道館で開催された。大会には日本古武道協会加盟流派のうち、35流派が出場。持ち時間各8分の中で日頃の稽古の成果を存分に披露した。

会場には、およそ3000名の観客が詰めかけ、各流派の奥義を堪能した。

定刻の午前10時半、大太鼓の「ドーン」という合図で、三藤芳生日本武道館理事・事務局長の開会宣言が行われ、大会は幕を開けた。

国歌斉唱に続いて、主催者を代表して、松永光日本武道館・日本古武道協会会長が挨拶に立った。

「第39回日本古武道演武大会が、盛大に開催されますことを誠に嬉しく思います。日本文化の中でも、世界に誇るべき伝統文化の一つが古武道であります。日本の誇るべき文化である古武道をこれからも大切にしていかなければなりません。この大会にあたり、関係の諸団体・各位のご尽力に感謝申し上げます。大会が大成功に終わるよう祈念いたします」

次に臼井日出男日本武道館・日本古武道協会理事長が挨拶。
「古武道は日本の長い歴史と伝統の中で培われ、全国各地で継承されて



山谷えり子日本武道館評議員



臼井日出男日本武道館理事長



松永光日本武道館会長

きております。本大会を通じて、今後とも古武道精神をしつかりと継承していけるよう、皆さんに期待するとともにお願いする次第です。本日は35流派のすばらしい演技披露を、ご来席の皆様方に十二分に満喫していただきたいと思います」

開会式に続いて、恒例の古武道功労者表彰式が行われた。今年の受賞者は、加藤紘（立身流兵法第二十二代宗家）と吉川常隆（鹿島新當流剣術第六十五代宗家）の両氏（両氏による受賞の喜びの声は146〜147ページ



古武道功労者表彰記念写真

左から吉川氏（鹿島新當流剣術）、松永会長、加藤氏（立身流兵法）

に掲載）。

第一部、演武始めは小笠原流弓馬術が務めた。演武は小笠原流に伝わる歩射儀式でも重要な儀式である百々手式が行われた。この儀式は祈願・魔性退散または祝事・祭事に際して行われる儀式で、古武道の隆盛を祈願して執行された。

その後は、立身流兵法以降、別掲の演武順の通り進んだ。18番目の雲弘流剣術の後に、約20分間の休憩を挟み、第二部は鹿島新當流剣術から始まり、演武納めには森重流砲術が



開会式

登場。まずは礼射にあたる居放を披露。その轟音に客席から感嘆の声が起こった。興奮冷めやらぬ中、連射である早放の轟音が5発続けざまに場内に響き渡った後、複数の射手が横一線に並んで射撃を行う備打が行われ、演武納めとなった。

硝煙の匂いが立ちこめる中、山谷えり子日本武道館評議員・武道議員連盟理事・参議院議員が挨拶を述べた。

「すばらしい見事な演武を見せていただきました。35流派、それぞれの土地の魂、またご先祖様の脈々たる心を感じさせていただきました。武道議員連盟の一人として、現代武道の源流である古武道の継承・保存・発展にこれからも力を尽くしてまいります」と

そして、山田重夫日本古武道協会理事・事務局長の閉会宣言により、大会は幕を下ろした。





鐘捲流抜刀術



竹内流柔術日下捕手開山



沖縄剛柔流武術



金硬流唐手・沖縄古武術



円心流居合据物斬剣法



立身流兵法



天道流薙刀術



心月無想柳流柔術



小笠原流弓馬術



兵法タイ捨流



二刀神影流鎖鎌術



神道無念流剣術



宝蔵院流高田派槍術



野田派二天一流剣術



尾張貫流槍術



雲弘流剣術



荒木流軍用小具足



長谷川流和術



初實剣理方一流剣術



柳生心眼流體術



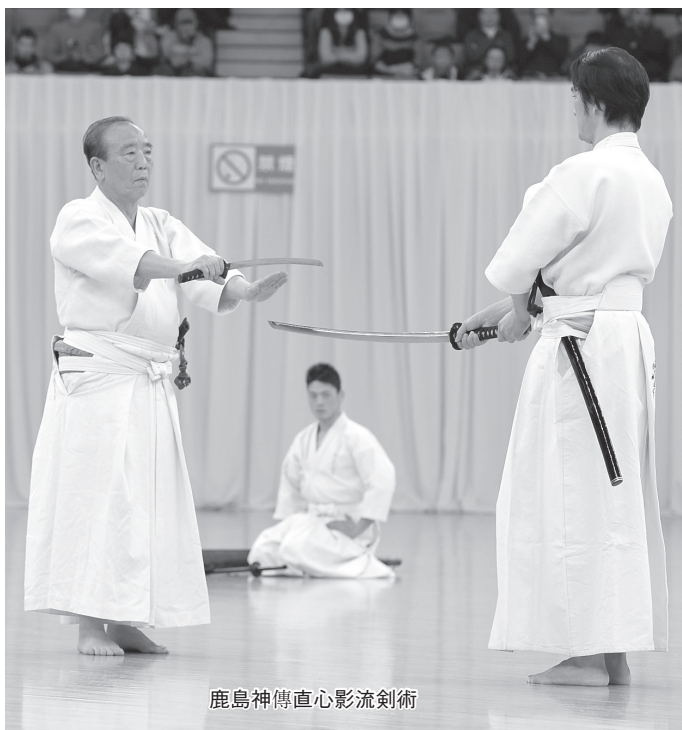
和道流柔術拳法



卜傳流剣術



直心影流薙刀術



鹿島神傳直心影流剣術



天神真楊流柔術



澁川流柔術



小野派一刀流剣術



氣樂流柔術



神道夢想流杖術



鹿島新當流剣術



柳生新陰流兵法剣術



為我流派勝新流柔術



糸洲流空手



森重流砲術

出場流派・演武者（演武順）

①小笠原流弓馬術（神奈川）

小笠原清忠、小笠原清基、石井和夫、田丸達男、玉川智、吉田昌伸、鎌形佐知夫、飯島陽一、藤田健作、宇田川照子、高杉千恵子

②立身流兵法（千葉）

加藤紘、加藤敦、齊藤勝、山田市郎、江尻裕介、吉田龍三郎、甲賀喜助、圖司行克、八角敏正、鈴木美智子、山崎恒弥、石毛勝也、渡辺紳一、栗原実、梅谷咲太郎、近藤恭弘

③竹内流柔術日下捕手開山（岡山）

竹内藤一郎、氏房功

④天道流薙刀術（東京）

木村恭子、砂川碧、額原和代、小野由紀子、砂川邦子、角薫、玉置捷子、田室美知子、針本佳世子、廣瀬幸子、福田啓子、和田久代

⑤心月無想柳流柔術（兵庫）

岩永源三郎、大窪敏明、吉岡勝子、原田欣和、桑波田秀祐、八島和雄、井上優一郎、奥村宗一郎、山本公子

⑥兵法タイ捨流（熊本）

上原エリ子、山本隆博、田添信一郎、佐藤友昭

⑦沖繩剛柔流武術（沖縄）

東恩納盛男、中村哲二

⑧神道無念流剣術（東京）

小川武、中島宏之、萩崎昭、中錦秀光、落合毅、土屋正則、高田一男、城崎建太郎、牧戸昌邦、玉根純也、丹羽恵一、

椎野文夫

⑨大東流合気柔術 琢磨会（大阪）

森恕、川辺武史、西谷修、芝田彰祐、山本敦史、小林明彦、吉田英洋、吉田浩子

⑩鐘捲流拔刀術（岡山）

植原正士、植原弘之

⑪金硬流唐手・沖繩古武術（茨城）

早坂ゆかり、大村朝洋、善平浩次、与儀清美

⑫円心流居合据物斬剣法（大阪）

増本孝和、濱先康彰、高槻幸雄、片野美佐、北野光一、吉井壽彦

⑬二刀神影流鎖鎌術（高知）

島村収、細川隆

⑭野田派二天一流剣術（熊本）

荒木章博、大群和史、他門下生一同

⑮柳生心眼流體術（神奈川）

梶塚靖司、寺久保敦也、小林茂雄、谷野文弥、吉岡一紀、坂本哲郎、藤澤勝也

⑯初實剣理方一流剣術（岡山）

植月求、植月重幸、星島伸二、正木英登

⑰長谷川流和術（埼玉）

桑原巡、倉田勝己、中前裕治、逸見彰一

⑱雲弘流剣術（熊本）

井上弘道尤雲、井上照貴

⑲鹿島新當流剣術（茨城）

原正俊、今井淳也、橋本大、豊屋敏治、

岡見安宏

⑳直心影流薙刀術（奈良）

梶山武子、野崎房江

㉑卜傳流剣術（青森）

小山秀弘、小山隆秀

㉒尾張貫流槍術（愛知）

加藤伊三男、下村幸裕、神戸信夫、下村直樹、藤原正道、赤羽根大介、毛利圭介、神戸溪太、横地浩紀、マイケル・カン、アレックス・クラップ、森治紀、小池祐紀、神原会弥、新小田次徳、山内一統、新垣タニエル、中村武靖、渡辺恭平

㉓天神真楊流柔術（埼玉）

坂本忠彦、福田哲雄、渡邊卓也、岩倉淳、古川真一

㉔和道流柔術拳法（東京）

大塚和孝、井上義孝、寺田英視、押田良光、金澤紀代子

㉕神道夢想流杖術（福岡）

大竹俊行、神之園文男、小塚禮子、矢野多衛子、林映子、岩田善信、時任晴美

㉖荒木流軍用小具足（埼玉）

豊田良樹、坂本浩一、片桐克彦、千葉明、栗林征喜、戸叶秀俊、河野真一、鶴岡嘉治、浅輪晃一

㉗澁川流柔術（大阪）

吉野明嗣、村井道由、東英章

㉘鹿島神傳直心影流剣術（千葉）

岩佐勝、若林タニエル悟、原章子、中

平尊、松本光司、楠清枝

㉙氣樂流柔術（群馬）

飯寫文夫、飯寫雅史、飯寫幸

㊳糸洲流空手（神奈川）

坂上節明、楠原清誌

㊵宝蔵院流高田派槍術（奈良）

一箭順三、前田繁則、粕井隆、榎波伸和、尾野好司、若林幹雄、長田眞男、美馬博幸、土屋明洋、西本昌永

㊶柳生新陰流兵法剣術（愛知）

柳生耕一、嚴信、鈴木泰充、柴田幸芳、洲上俊顕、星川宣禎、霞谷努

㊷為我流派勝新流柔術（茨城）

根本憲一、唯之、谷啓一、安二郎、大和久正幸、村木浩治、沢幡伸男、斎藤幸生、落合脩治、久野周也

㊸小野派一刀流剣術（東京）

笹森建美、平田富峰、矢吹裕二、石崎徹

㊹森重流砲術（神奈川）

小野尾正治、村上藤次郎、青木孝、角替進、斉藤一博、片山直巳、石井和己



好評発売中

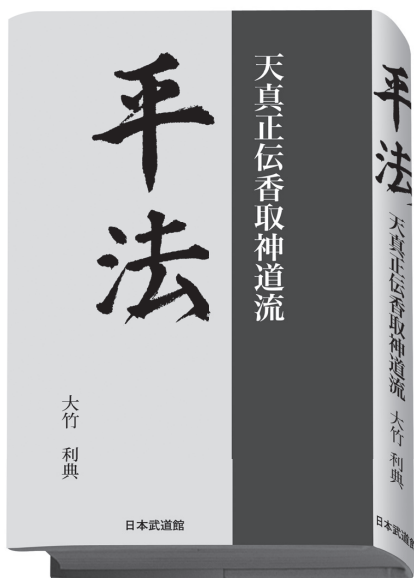
平法

天真正伝香取神道流師範

大竹利典 著

天真正伝香取神道流

近世剣術の源流として知られる天真正伝香取神道流の全伝を受け継ぐ著者が、その膨大な武と知を語る。



(四六判・上製・296頁)

香取神道流の歴史、剣術・居合術・薙刀術・手裏剣術などの武術、方術・築城術などの遁甲術や軍学兵法を、伝書を基に紹介。
さらに、七十年近い修行人生を振り返り、武を志す全ての者に必要な「平法（へいほう）」の思想について語る。

目次

- 序章 香取神宮御由緒
 - 第一章 歴史篇
 - 第一節 経津主大神の真伝、「天真正伝香取神道流」
 - 第二章 修行篇
 - 第一節 入門
 - 第二節 林先生に師事
 - 第三節 香取神道流最初の異国の門弟
 - 第四節 流祖生誕六百年記念祭
 - 第三章 技術篇
 - 第一節 剣術
 - 第二節 居合術
 - 第三節 棒術・薙刀術、槍術、手裏剣術
 - 第四節 柔術
 - 第五節 忍術
 - 第四章 軍学兵法篇
 - 第一節 遁甲術
 - 第二節 刀剣と密教
 - 第五章 思想篇—全ての修行者へ
 - 第一節 修行者の心得
 - 第二節 兵法は平法なり
- 平和を願う偉大なる教え



編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ！

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

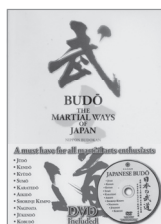
日本武道館発行の単行本（本をクリックすると、詳細が表示されます）



日本の武道

日本武道館 編

（B5判・上製・箱入・526頁）



BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集：アレキサンダー・ベネット

（B5判・上製・DVD付・336頁）



今、なぜ武道か

—文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

（四六判・上製・370頁）



武道における 身体と心

神戸学院大学教授

前林 清和 著

（四六判・上製・370頁）



（B5判・上製・箱入・462頁）

古流武術研究家
横瀬 知行 著

日本の古武道

直接取材による2000枚の写真と豊富な資料で古流の全貌を紹介！

日本の古武道には長い歴史と伝統があり、流祖に始まる一子相伝の脈々たる生命の大河を貫く知恵と経験が一つの見事な体系となって現代に伝えられている。

第15回全日本短剣道大会

団体成年の部 50普通Aが2連覇 団体女子の部 青森県選抜初優勝



団体戦成年の部決勝先鋒戦＝50普通A 櫻木（左）の二本目の胸が決まる

第15回全日本短剣道大会が2月14日、日本武道館で開催された。試合は3分三本勝負で行われ、時間内に勝敗が決しない場合は判定で勝敗を決した。大会には全国から129チーム、378名が参加して、短剣道日本一を競った。

◆団体戦（3人制）

◇成年の部

決勝は昨年優勝の50普通A（高知）と1普通Dの（東京）の顔合わせ。先鋒戦、50普通Aの櫻木雄一郎は胴で先制すると、試合再開直後にも、近間から引きながら胴を決めて



団体戦成年の部優勝＝50普通A（高知）

二本勝ち。続く、中堅・三原大和も胴二本を奪い、50普通Aが早くも優勝を決める。大将戦も50普通小川直希がきっちり勝利し、3―0で50普通Aが連覇を果たした。

◎優勝II 50普通A・福田拓司監督

「昨年と今年で2連覇できて非常に嬉しいです。負けてもおかしくないような試合もありましたが、大将の小川が、いいところでした。大将の勝ち、それに繋げた先鋒、中堅の役割も大きかったです。来々、3連覇を目指して頑張りたいです」

◇女子の部

決勝では青森県選抜と3連覇中の郡山（福島）が対戦。青森県選抜は、先鋒・山口あや子がのどを決めて先勝すると、中堅・牛島文珠乃も胴二本で勝利して、この時点で青森県選抜の優勝が確定。大将戦で郡山・軽部久美子が胴二本で勝利して一矢報いるも、青森県選抜が郡山の4連覇を阻んで見事な初優勝を飾った。

◇高校生の部

決勝では由利高B（秋田）と柴田農林高（宮城）が対戦。先鋒・中堅、大将まで一本も奪われずに完勝した由利高Bが、頂点に立った。

◆個人戦

◇成年Aの部（35歳以下）

決勝は小川直希（50普連）と児島義久（1普連）の顔合わせ。小川は胴、のどと二本決めて、悲願の初優勝を手にした。

◎優勝Ⅱ50普連A・小川直希選手

「短剣道を始めて10年経ちますが、昨年まで個人でベスト8以上になったことがありますでした。今年初めてベスト8の壁を越えられたので、優勝を目指しました。来年も追われる立場と思わず、優勝を狙いたいと思います」

◇成年Bの部（36歳以上50歳以下）

決勝は、成年Aで過去2度の優勝経験を誇る滝沢元氣（元氣道場）と昨年の優勝者である長谷川英昭（群馬県選抜）の対戦。滝沢が胴二本を決め、成年Bの部で初優勝。

◇成年Cの部（51歳以上）

田代勝（静岡・普教連）と須合元（秋田県選抜）が決勝で対戦。田代が胴、のどと、立続けに決めて二本勝ち。

◇女子の部

決勝は2年前の覇者、山口あや子（郡山）と軽部久美子（郡山）の郡山同士の決戦。試合は開始早々に山

口が電光石火の胴で先制。試合再開

直後、山口と軽部は胴の打ち合いになり、旗が割れるが、2本上がったのは山口。山口は2年ぶりの優勝を決め、女王に返り咲いた。

◎優勝Ⅱ郡山・山口あや子選手

「決勝は同じ郡山の選手で、緊張感もありつつ、楽しみながら試合が出来ました。気持ちで負けないように意識して、手の内が知られている分、スピード勝負で行きました」

◇高校生の部

決勝戦、斎藤蓮（由利高）は、佐藤拓未（由利高）に胴二本で勝利。

【大会結果】

◆団体戦

▽成年Ⅱ①50普連A②1普連D③香川県選抜、普教連B

▽女子Ⅱ①青森県選抜②郡山③北海道選抜、由利高校

▽高校生Ⅱ①由利高B②柴田農林高③横浜修悠館A、由利高A

◆個人戦

▽成年A①小川直希（50普連）②児島義久（1普連）③大西洸（50普連）、山口徹（18普連）

▽成年B①滝沢元氣（元氣道場）②長谷川英昭（群馬県選抜）③國重道大（香川県選抜）、小坂高史（実験団剣勇会）

▽成年C①田代勝（静岡・普教連）

②須合元（秋田県選抜）③船城明（徳島県選抜）、相野照昭（青森県選抜）

▽女子Ⅱ①山口あや子（郡山）②軽部久美子（郡山）③富士舞子（青森県選抜）、中野渡弥生（神奈川県選抜）

▽高校生Ⅱ①斎藤蓮（由利高）②佐藤拓未（由利高）③瀬川純（柴田農林高）、小松朋樹（由利高）



個人戦成年Aの部決勝＝小川（右）対児島



個人戦女子の部決勝＝山口（左）の胴が決まる



個人戦優勝者＝前列左から小川、滝沢、田代、山口、斎藤

ミツボシの剣道防具



日本武道館の単行本

漫画家・別府大学教授

田代しんたろう 著

マンガ・武道のすすめ

(B5判・236頁)

マンガ・武道のすすめ

田代しんたろう



日本武道館

月刊「武道」誌上で好評連載中の「マンガ・武道のすすめ」を単行本化!

柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・少林寺拳法・なぎなた・銃剣道・古武道の各先生方に毎回直接インタビュー取材し、武道の良さ、すばらしさをおもしろく、わかりやすく、描いています。

大人も子どもも読んで楽しく、ためになる武道教養マンガ。

《目次》

序章 武道のすすめ

松永光(日本武道館)／高村正彦(武道議員連盟)／有松育子(文部科学省)

第1章 いざ! 武道の世界へ

第2章 柔道のすすめ

大澤慶己／長谷川博之／腹巻宏一／吉村和郎／山内直人

第3章 剣道のすすめ

森島健男／角正武／千田重光／井上茂明／小林知洋

第4章 弓道のすすめ

森永良雄／吉本清信／宇佐美義光／柴田猛／大和田正孝

第5章 相撲のすすめ

塔尾武夫／住吉和則／下村勝彦／安井和男

第6章 空手道のすすめ

金城裕／長谷川伸一／安里廣之／山本英雄／大石武士

第7章 合気道のすすめ

多田宏／磯山博／菅沼守人／珠玖仁

第8章 少林寺拳法のすすめ

合田清一／阿達美恵子／八巻哲／松浦哲也

第9章 なぎなたのすすめ

澤田花江／梶山武子／一川治子／左村美穂子／大津博美

第10章 銃剣道のすすめ

桑原正治／兼坂弘道／遠藤守／石川慎也／北村弘之

第11章 古武道のすすめ

竹内藤十郎(柔術)／笹森建美(剣術)／加藤伊三男(槍術)

小笠原清忠(弓馬術)

日本武道館の歴史

編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

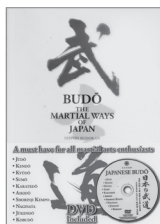
日本武道館発行の単行本（本をクリックすると、詳細が表示されます）



今、なぜ武道か

—文化と伝統を問う—

福島大学教授
中村 民雄 著
（四六判・上製・370頁）



BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編
翻訳・編集：アレキサンダー・ベネット
（B5判・上製・DVD付・336頁）



武道 子どもの心をはぐくむ

早稲田大学教授・教育カウンセラー
菅野 純 著
（四六判・上製・410頁）

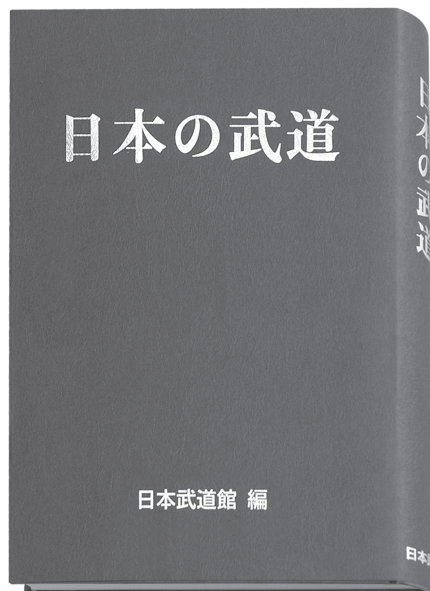


大先輩に聞く

月刊「武道」記者
田谷 将俊 著
（四六判・上製・376頁）

一千数百年の歴史を有する
武道の全容をこの一冊に集大成!!
武道小百科事典としても役立つ
充実した巻末の資料編!!

柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・
少林寺拳法などさまざまな銃剣道をはじめ、
各武道統括団体の全面協力によって完成!!

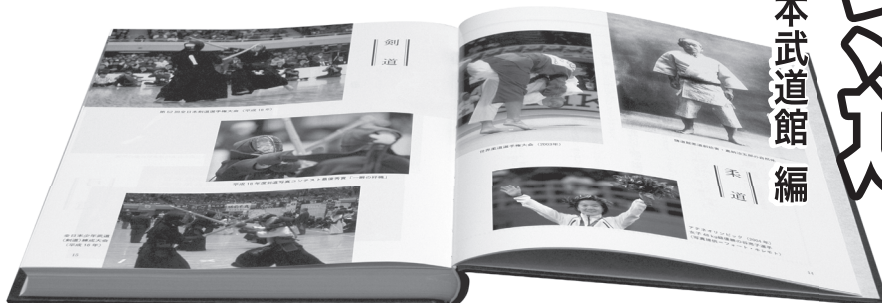


（B5判・上製・箱入・526頁）

日本の武道

日本の武道のすべてを網羅した武道関係者必携の書

日本武道館 編





平成27年度

全国都道府県立武道館協議会事務担当者会議

全国から34名が集まり 活発な情報交換を行う

平成27年度全国都道府県立武道館協議会事務担当者会議が、1月18日・19日の2日間、日本武道館会議室で開かれた。同協議会に加盟する全国の武道館から34名が集まり、活発な話し合いが行われた。

会議は、全国都道府県立武道館協議会事業の円滑な実施や加盟施設の管理・運営の向上に繋げていくことを目的に、各施設の窓口となる事務担当者が一堂に会し情報や意見を交換する場として、3年に1回開催されている。

会議は2日間にわたって行われ、基調講演、全体会議（協議会の事業や実務についての説明）、分科会（少人数のグループに分かれての情報交換会）、日本武道館施設見学、懇親会が盛り込まれる。今年は前回までの参加者の意見を参考に、分科会の時間を1時間増やして実施されることとなった。

□1日目

当日、東京では雪が路面を覆い、交通にも大きな影響を及ぼしたが、参加者は順調に集まり、定刻の午後

1時半に会議は開始された。はじめに三藤芳生日本武道館理事・事務局長が挨拶を述べ、次に出席者全員が順番に自己紹介を行った。

次に、三藤理事・事務局長による基調講演「全国都道府県立武道館協議会の歴史・組織・事業・課題と、本担当者会議について」が行われ、協議会の成り立ちや意義、事業などについて話が展開された。加えて日本武道館の中学校武道授業充実に向けての取組として、各種事業の説明



分科会

や今年度集計を行った中学校武道必修化アンケートの結果を紹介し、各地域における武道振興へのいっそうの協力をお願いした。

続く全体会では片岡正徳日本武道館振興部普及課長が、協議会の事業についてさらに詳しい説明を行った。各地における県内公立武道館協議会と都道府県武道協議会の設置状況、日本武道館との共催事業として

行う地域社会指導者研修会・青少年錬成大会の実施概要や事務・経費など、協議会事務担当者の実務に沿った話がなされた。

休憩を挟み、参加者主体で行われ



日本武道館内の設備を見学



懇親会

る分科会に移った。施設の規模ごとに8〜9名の4班に分かれ、それぞれ日本武道館事務局職員の司会で進められた。今回、分科会は初日に1時間と2日目に2時間設けられている。この日は各参加者から施設概要や現状についての報告がなされ、互いの施設の設備や問題点を把握して翌日の意見・情報交換に備えた。

1時間の分科会が終わり、施設見学へ。日本武道館施設課職員の案内で、大道場、小道場で行われる武道学園、畳の収納方法、畳の清掃の様子などを見て回った。参加者は熱心に説明に耳を傾け、質問を交えた

り、写真を撮ったりしながら見学した。

この後、ホテルグランドパレス(東京・飯田橋)に移動し、午後6時よ

り懇親会が開かれた。参加者は情報交換をしたり、なごやかに談笑しながら交流を深めた。

■分科会協議内容

A班 (北海道、千葉県、山梨県、岐阜県、広島県、山口県、福岡県、鹿児島県)

①指定管理者制度の導入に伴う問題点、②施設貸出に係る日程調整と貸出状況、③施設の改修・補修工事の実施日程の調整、④利用料、⑤東京オリンピック・パラリンピック練習会場の誘致、⑥広報活動

B・1班 (青森県、岩手県、宮城県、秋田県、茨城県、埼玉県、東京都、石川県、福井県)

①自主事業(武道教室等)の広報、②施設修繕の予算、③利用時間の延長料、④弓道場の雪対策、⑤駐車場不足の対策、⑥客席不足の対策

B・2班 (静岡県、愛知県、滋賀県、兵庫県、鳥取県、愛媛県、宮崎県、沖縄県)

①共催事業の実施種目を多様化させる方法、②中学校授業特化型指導者研修会での教育委員会との連携、③共催事業への参加者を増やすための取組み、④施設稼働率をアップさせる方法、⑤武道以外での施設利用における新規申込団体への対応、⑥利用者マナー向上のための取組み

C班 (山形県、福島県、栃木県、神奈川県、和歌山県、島根県、岡山県、高知県、熊本県)

①運営(指定管理者制度、施設の貸出、武道団体との連携、稼働率の向上、料金体系)、②事業(自主事業〔武道以外の教室〕の参加者募集)、③施設(老朽化による施設修繕、LED化、駐車場の確保、利用者マニュアル)、④広報(ホームページ、SNSの活用)、⑤県内公立武道館協議会、都道府県武道協議会設立への課題

□2日目

2日目は午前9時より、前日に引き続き分科会が行われた。前日の報告や事前に事務局が行った調査結果の中であがった課題をもとに、各施設の課題などについて情報交換を進めた。各班であがった話題は、協議会の事業である地域社会指導者研修会・青少年錬成大会実施に関すること、施設の管理・運営上の問題、自

主事業について、指定管理者としての課題など、多岐にわたった。武道振興という同じ目的を持つ施設の担当者同士、自施設における工夫や成功例など、惜しみなく情報を提供し合った。話は尽きず、あつという間に2時間が過ぎていった。

分科会が終了すると、全員が会議室に集合。分科会の各班の代表として、鹿児島県・庵之下武志氏、宮城

県・伊藤希氏、静岡県・松浦麻乃氏、島根県・土江健太氏が、それぞれ自班で行われた話し合いの概要を全体に紹介。前述した話題、テーマについて報告があつたほか、事務担当者の会議の実施時期の調整や、各武道館の新任の事務担当者に対する研修実施希望など、日本武道館事務局側への要望もあがった。

□まとめ

最後に、まとめとして参加者全員が順番に感想を述べた。「参考になる意見を多く得られた」「ここで得た情報を持ち帰り自施設でも活かしたい」「会議を通してできたネットワークを大切にしていきたい」という声が多くあがっていた。最後に三藤理事・事務局長が「皆様の感想をお聞きして会議の目的が達成されたと感じています。地域における事情や立場はさまざまですが、この思いを胸に皆様方の職場、武道館としての活動の中で活かしていただきたいと思います。2日間ありがとうございました」と締めくくり、会議は終了した。

(日本武道館振興部普及課)



分科会 B-1 報告
宮城県・伊藤希氏



分科会 A 報告
鹿児島県・庵之下武志氏



分科会 C 報告
島根県・土江健太氏



分科会 B-2 報告
静岡県・松浦麻乃氏



マンガ・武道の偉人たち

漫画家・別府大学教授 田代しんたろう 著

B5判・302頁・本体 1,000円+税

武道の基礎を築いた偉人たちの生涯をマンガで学べる。
収録偉人一覧：嘉納治五郎(柔道)、高野佐三郎(剣道)、阿波研造(弓道)、
双葉山(相撲)、船越義珍(空手道)、植芝盛平(合気道)、宗道臣(少林寺拳法)、
園部秀雄と三田村千代(なぎなた)、鶴沢尚信(銃剣道)

ご注文・お問い合わせ 日本武道館 月刊「武道」編集部 〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3 TEL 03-3216-5147 FAX 03-3216-5158
<http://www.nipponbudokan.or.jp> インターネットでのご注文は、「武道館単行本」と検索!

全国都道府県立武道館協議会事務担当者会議参加者

	都道府県名	加盟館	出席者
1	北海道	北海道立総合体育センター	小林 哲也
2	青森県	青森県武道館	太田 道明
3	岩手県	岩手県営武道館	小原 博
4	宮城県	宮城県第二総合運動場	伊藤 希
5	秋田県	秋田県立武道館	北野 駿弥
6	山形県	山形県武道館	工藤 正広
7	福島県	福島県営あづま総合体育館	尾形 省二
8	茨城県	茨城県武道館	倉持 浩
9	栃木県	栃木県体育館	田中 祥実
10	埼玉県	埼玉県立武道館	後藤 節哉
11	千葉県	千葉県総合スポーツセンター	渡辺 一男
12	東京都	東京武道館	小出 智光
13	神奈川県	神奈川県立武道館	工藤 広明
14	山梨県	山梨県小瀬スポーツ公園武道館	中村 正仁
15	石川県	石川県立武道館	大黒 英理
16	福井県	福井県立武道館	宮本 徹也
17	静岡県	静岡県武道館	松浦 麻乃
18	岐阜県	岐阜メモリアルセンター	近藤 三友紀
19	愛知県	愛知県武道館	倉知 裕太
20	滋賀県	滋賀県立体育館・武道館管理センター	辰巳 直樹
21	兵庫県	兵庫県立武道館	松本 俊彦
22	和歌山県	和歌山県立武道館	岸裏 勇一
23	鳥取県	鳥取県立武道館	本田 洋平
24	島根県	島根県立武道館	土江 健太
25	岡山県	岡山武道館	平田 龍太郎
26	広島県	広島県立総合体育館	荒井 恵一郎
27	山口県	維新百年記念公園スポーツ文化センター	片山 一夫
28	愛媛県	愛媛県武道館	越智 陽介
29	高知県	高知県立武道館	土井 誠二郎
30	福岡県	福岡県立スポーツ科学情報センター	岡 美秀
31	熊本県	熊本武道館	高田 学
32	宮崎県	宮崎県教育庁スポーツ指導センター	渡部 慎一
33	鹿児島県	鹿児島県総合体育センター	庵之下 武志
34	沖縄県	沖縄県立武道館	徳嶺 亜矢乃

好評発売中

脳生理学者・医師
東邦大学名誉教授

有田 秀穂 著

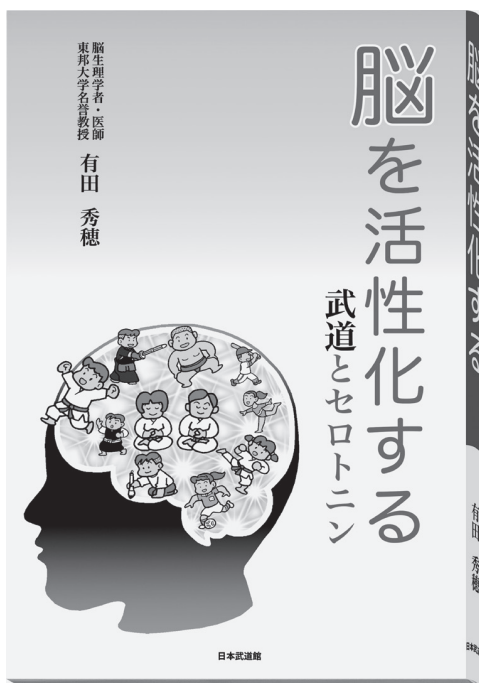
脳を活性化する

武道とセロトニン

人間の心身を安定させ、「無心」の状態を作るセロトニン神経―その研究の第一人者が、丹田呼吸法を手懸かりに、武道や禅、日本文化を題材として、誰もが
できる脳を活性化する方法をわかりやすく解説。

脳を活性化する

武道とセロトニン



A5判・並製・346頁・1600円+税

有田 秀穂
(ありた・ひでほ)

昭和23年(1948)東京都生まれ。東京大学医学部卒業。東海大学医学部助手、筑波大学基礎医学系講師、東邦大学医学部教授を経て、現在、東邦大学名誉教授。脳生理学者、医師。セロトニン道場代表。



主な内容

第1部 脳の活性化とは

坐禅とセロトニン

ストレスとしごき

空海はセロトニン活性の達人

『弓と禅』に学ぶ身体トレーニング

沢庵の「不動智」とワーキングメモリー

不動明王と心の三原色

『弓と禅』に学ぶ無意識の自己意識

悪夢を消すには?

精進料理とセロトニン合成

「茶の湯」とセロトニンの生活

「自然に体が動いた」を脳科学で解く

勝海舟の「明鏡止水の心」を脳科学する

「武道の礼法」は社会脳を育む

相撲の「四股」は品性を育む

書道も心技体の人間修行

アンドロゲンと闘争心

日本の祭にはセロトニンがたっぷり

スキンシップとオキシトシン

空手の稽古は坐禅修行に通じる

脳は「丹田呼吸法」をどう操るか

試合における最適な覚醒状態

サイエンスは「気」をどこまで解明したか

仙人術を脳科学する

第2部 対談「武道で脳を活性化しよう」

日本武道館会長

松永 光

東邦大学名誉教授

有田 秀穂

：他

編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

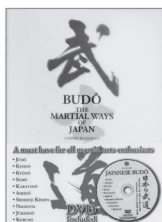
日本武道館発行の単行本（本をクリックすると、詳細が表示されます）



日本の武道

日本武道館 編

（B5判・上製・箱入・526頁）

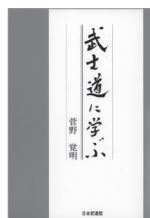


BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

（翻訳・編集：アレキサンダー・ベネット）

（B5判・上製・DVD付・336頁）



武士道に学ぶ

皇學館大学教授

菅野 覚明 著

（四六判・上製・344頁）



武道の礼法

弓馬術礼法小笠原教場三十一世宗家

小笠原清忠 著

（四六判・上製・278頁）



マンガ・ 武道のすすめ

漫画家・別府大学教授

田代しんたろう 著

（B5判・並製・236頁）



武道における 身体と心

神戸学院大学教授

前林 清和 著

（四六判・上製・370頁）

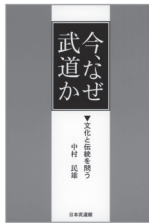


<増補版> 私も武道経験者です

月刊「武道」記者

吉野 喜信 著

（四六判・上製・326頁）



今、なぜ武道か

—文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

（四六判・上製・370頁）



大先輩に聞く

月刊「武道」記者

田谷 将俊 著

（四六判・上製・376頁）



武道・ スポーツの真髄

スポーツドクター

辻 秀一 著

（四六判・上製・248頁）

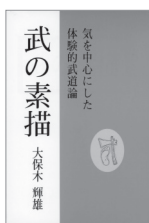


武道 子どもの心をはぐくむ

早稲田大学教授・教育カウンセラー

菅野 純 著

（四六判・上製・410頁）



武の素描

埼玉大学教授

大保木輝雄 著

（四六判・上製・220頁）



月刊「武道」は、全国の書店で販売しています。
定期購読、詳しい内容については、上記ロゴを
クリックしてください。